

事前評価報告書

Advisory Board Meeting 開催日：平成17年7月28, 29日

評価委員：（敬称略、アルファベット順）

Prof. Masuo Aizawa (Tokyo Institute of Technology), Prof. Fritz Aldinger (Max Planck Institute for Metals Research), Prof. Akio Etori (Edogawa University), Prof. Jean Etourneau (Institut de Chimie de la Matière Condensée de Bordeaux), Prof. Colin Humphreys (University of Cambridge), Dr. Tetsuro Ohashi (National Traffic Safety and Environment Laboratory), Dr. Leslie E. Smith (National Institute of Standards and Technology), Prof. Marcel Van de Voorde (European Commission Research), Dr. Stan Williams (Quantum Science Research, Hewlett-Packard), Prof. Hiroaki Yanagida (University of Tokyo)

課題名	高機能光触媒材料の研究開発
研究責任者の所属・氏名	エコマテリアル研究センター 葉 金花
【項目】	評価結果
コメント及びアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・世界一流の研究であり、質が高く、社会的関心の強いプロジェクトである。 ・非常に重要な研究分野であり、研究を促進すべき分野である。 ・新しい光触媒を扱っている独創的で斬新な研究である。 ・日本発の材料で応用を含めて発展が期待される。 ・新しい光触媒の開発における過去の業績は非常に優れている。将来の成功の鍵は、基礎化学原理を理解する能力に依存する。本研究グループの現在の理解状態についてはあまりはっきりしないが、このことを提案書の中で強調すべきだったのではないか。 ・よい目標であり、優れた理解である。この研究はMichael Graetzel教授（スイス、ローザンヌ工科大学）の研究とどのように比較されるのか。また、この研究はどれ位独創的で斬新なのか。例えば、Michael Graetzel教授指導下の研究に比べてどうか。 ・同じ研究を大学や企業も数多く実施している中で、本プロジェクトの独自性や必要性を明確に主張すべきである。
評価点	A, A+, S, S, S, B, A, A+, N/A, A+
総合評価点※	A+

N/A=No Answer

※評価点の点数は10(S), 9(S-), 8(A+), 7(A), 6(A-), 5(B+), 4(B), 3(B-), 2(C+), 1(C)とする。総合評価点は評価委員の点数の平均点（小数点第二位以下四捨五入）をXとすると、S:X=10, S-:9≤X<10, A+:8≤X<9, A:7≤X<8, A-:6≤X<7, B+:5≤X<6, （以下同じ考え方）・・・とする。